

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-75979

⑬ Int. Cl.<sup>9</sup>

B 25 B 23/04  
B 25 C 1/00

識別記号

A 7181-3C  
Z 7181-3C

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)7月30日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑭ 考案の名称 ねじ打ち込み装置

⑮ 実 願 平1-136176

⑯ 出 願 平1(1989)11月24日

⑰ 考 案 者 高 木 春 男 東京都品川区東中延2-6-3

⑱ 出 願 人 讃 富 商 事 株 式 有 限 公 司 東京都足立区中央本町1-14-20

⑲ 代 理 人 弁 理 士 大 塚 貞 次

⑳ 実用新案登録請求の範囲

ドライバビットが装着されるドライバ工具の先端に連結部材を介して摺動案内ケースを取り付け、この摺動案内ケース内に戻りばねを介して摺動部材を上下方向摺動自在に嵌挿し、ねじを植設したねじ保持ベルトを上記摺動部材のベルト装填部に装填し、上記摺動部材を上記摺動案内ケース内に押し込むときに上記ねじ保持ベルトを一ねじ区間移送し、上記ドライバビットの下に移送したねじを該ドライバビットによつて被打ち込み部材に打ち込めるように構成したねじ打ち込み装置において、上記ベルト装填部の上方であり、上記ドライバビットが挿通される上記摺動部材の挿通孔部にボールベアリングの外輪を取り付け、このボールベアリングの内輪に上記ドライバビットが挿通されることを特徴とするねじ打ち込み装置。

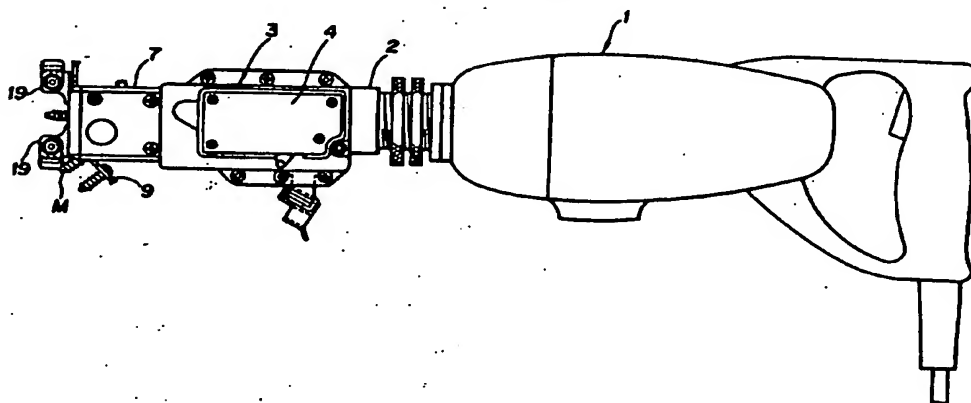
図面の簡単な説明

第1図は電動ドライバ工具に取り付けた本考案による一実施例のねじ打ち込み装置の外観を示す

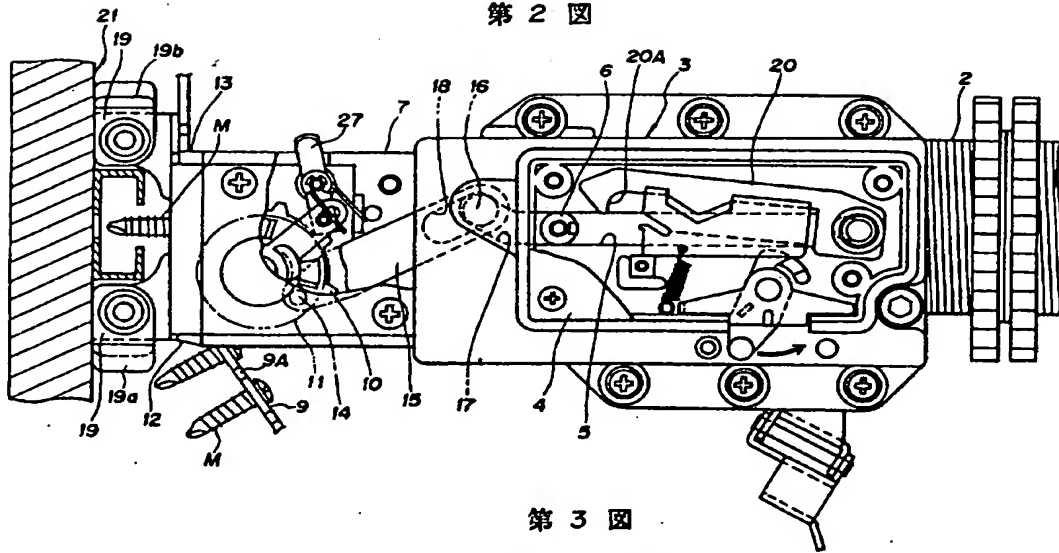
側面図、第2図は上記ねじ打ち込み装置を一部切り欠いて示す側面図、第3図は上記ねじ打ち込み装置の断面図、第4図はドライバビット保持機構に用いられるリング状押え板の平面図、第5図はドライバビット保持機構に用いられるリング状板ばねの平面図、第6図は従来のねじ打ち込み装置の断面図である。

1……電動ドライバ工具、2……連結部材、3……摺動案内コース、5……長孔、6……ピン、7……摺動案内、8……戻りばね、9……ねじ保持ベルト、10……スプロケット、11……ラチェット車、14……ピン、15……回動レバー、16……ピン、17……回動案内溝、18……回動案内孔、19……脚部、21……被打ち込み部材、22a, 22b, 22c……孔部、23……ボールベアリング、24……リング状板ばね、25……段部、26……リング状押え板、27……操作レバー、D……ドライバビット、M……ねじ、M1……係合溝。

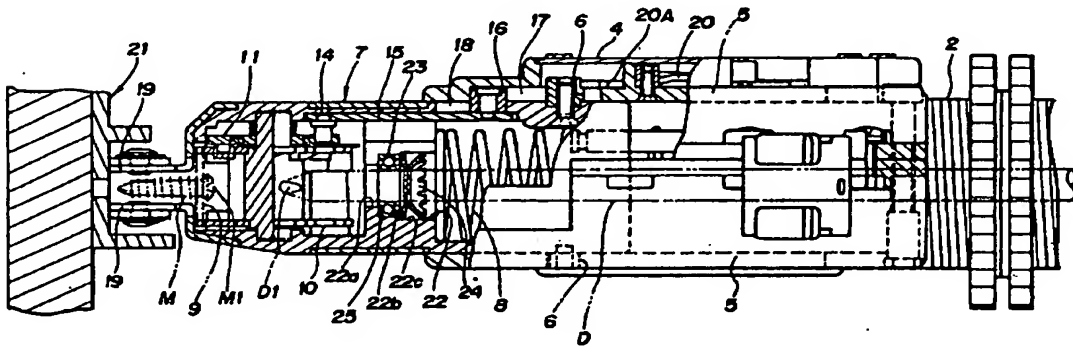
第1図



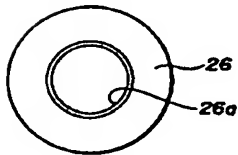
第 2 図



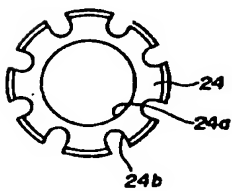
第 3 図



第 4 図



第 5 図



第 6 図

